

授業科目	博物館特講 Museology			担当教員	落合 知子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年/後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>テーマ： 博物館学総論 到達目標： 博物館学的視野に立脚した博物館の4大機能を理解する。 博物館資料の修理・修復技術を学ぶ。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	博物館学に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。			授業態度・参加		20%	
思考・判断	博物館学の特性や課題を見出す思考力を養うことができる。			定期試験		10%	
技能・表現	博物館資料の修理・修復技術を修得できる。			課題レポート		10%	
知識・理解	博物館学の概念を理解し、人文系及び自然系博物館の専門知識を修得できる。			定期試験 課題レポート		30% 30%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は定期試験 40%、課題レポート 40%、授業態度・参加 20%の配分で行う。授業態度・参加については受講生同志の討論や教員からの発問に対する応答の内容を評価基準とする。</p>							
授業の概要							
<p>博物館学の基本となる博物館法・博物館史・博物館分類を中心に講義と研究発表を組み合わせた授業形態とする。また、博物館資料の修理・修復技術も学修する。これらの指導の過程において、研究を進める上で必要な研究倫理教育に関しても行うものとする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。授業時の配布資料。 参考書：授業時に指定する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>日頃より博物館に訪れ、博物館に興味を持つことを期待する。 博物館学の著書及び論文をたくさん読んでいただきたい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	導入 [双方向]	博物館学について概説する。	シラバスと演習計画の確認。
2	博物館法及び関連法規Ⅰ [双方向]	日本国憲法・社会教育法・教育基本法・文化財保護法を確認し、博物館法制定に至る経緯を講義する。	博物館法及び関連法規の予習と復習。
3	博物館法及び関連法規Ⅱ [双方向]	博物館法及び関連法規について講義し、現代社会における博物館法の問題点を考える。	博物館法及び関連法規の予習と復習。
4	博物館の歴史 [双方向]	博物館の黎明期から近代博物館について概観する。	博物館の歴史の予習と復習。
5	博物館の分類Ⅰ [双方向]	スカンセン野外博物館・ノルウェー民俗博物館の歴史と日本の野外博物館について概観する。	海外の野外博物館と日本の野外博物館の予習と復習。
6	博物館の分類Ⅱ [双方向]	世界遺産・道の駅・重要伝統的建造物群保存地区・ジオパークについて概観する。	地域文化資源の予習と復習。
7	博物館の分類Ⅲ [双方向]	動物園・水族館について概観する。	動物園・水族館の予習と復習。
8	博物館資料保存論Ⅰ [双方向]	博物館資料の保存について、日本の伝統的保存方法を概観する。	日本の伝統的保存方法の予習と復習。
9	博物館資料保存論Ⅱ [双方向]	博物館資料の保存について、現代博物館のIPM・文化財レスキューを概観する。	現代博物館のIPMと文化財レスキューの予習と復習。
10	資料の修理・修復Ⅰ [双方向]	博物館資料の修理・修復の歴史を概観する。	文化財の修理・修復の予習と復習。
11	資料の修理・修復Ⅱ [双方向]	博物館資料の修理・修復技術を学ぶ。 学生と双方向の授業を展開する。	紙資料の修理・修復の予習と復習。
12	資料の修理・修復Ⅲ [双方向]	博物館資料の修理・修復技術を学ぶ。 学生と双方向の授業を展開する。	紙資料の修理・修復の予習と復習。
13	資料の修理・修復Ⅳ [双方向]	博物館資料の修理・修復技術を学ぶ。 学生と双方向の授業を展開する。	紙資料の修理・修復の予習と復習。
14	資料の修理・修復Ⅴ [双方向]	博物館資料の修理・修復技術を学ぶ。 学生と双方向の授業を展開する。	紙資料の修理・修復の予習と復習。
15	総論 [双方向]	全体を振り返り、本講義の反省点や達成点を学生との双方向で検討しあう。	全体のまとめの復習。